

# 犬が人を咬んでしまったら



- ① 相手のかたのケガの確認を行い、手当や病院の手配などの対応をしてください。
- ② 咬んでしまった犬について、すぐに獣医師による狂犬病鑑定を受けてください。
- ③ 保健所に連絡し、狂犬病鑑定書を持って届け出てください。



## 犬に咬まれやすい主な状況

- 犬同士のケンカを止めようとしたとき
- 見知らぬ犬に近づいたとき
- ケガをしている犬に近づいたとき
- 犬がエサを食べているとき
- 柵ごしに手を入れたとき
- 犬が子犬と一緒にいるとき





## 事故を起こさないために

---

### ■ 散歩のとき



- いざというときに犬を制御できるかたが散歩をする。
- リード(綱)は短く持つ。
- 首輪・鎖は定期的に取り替える。
- 首輪が抜けないようにきつめに装着する。
- 周囲に対して油断なく目配りする。
- ケンカするとき犬を止められる頑丈な靴を履く。  
(手で止めるのは危険です。)

### ■ 家で



- 柵や塀のすき間から犬の口が出ないようにする。
- 普段人が通るところにはつながない。
- 屋外で飼う場合は、門に必ず呼び鈴かインターホンを設置する。
- 市から交付された犬のシールを玄関や門扉など、見やすい場所に貼る。
- 門は必ず閉める。
- 屋内で飼う場合は玄関から飛び出さないよう防止柵などを設置する。



## 咬み癖のある犬には

---

犬のしつけの仕方、身体の不調など、咬む原因が何であるかを飼い主が正しく理解することが重要です。ドッグトレーナー（犬の訓練士）や獣医師などの専門家に相談してみることもよいでしょう。